

# 家庭ごみ 有料化

上

3点目はごみ処理費用の高止まり。自治体の歳出全体に占  
る。リコ  
といふ問題意識を私は持つて となど  
いる。

2000年に循環型社会基  
めるウエートは6%程度で、  
自治体では社会保障など減ら  
せないさまざまの支出が増え  
ている。ごみの処理費は、市  
民の減量努力で減らせる部分  
本法が制定され、リデュース  
(発生抑制)、リユース(再利  
用)、リサイクル(再生利用)  
の3Rの取り組みが始まっ

# 環境負荷“減”が重要



## ごみに係る研究を専門にする山谷氏

品を優先して選択するということ。日本は資源が少ない国という意味では、リサイクルも非常に重要な取り組みと言える。

環境負荷を減らし持続可能な循環型社会に向かう、排出されるごみを減らして限りある最終処分場を長く大切に使う、希少な資源を有効利用

困が提供される。また、たくさん出す人がたくさん負担する、減量努力する人の負担は減る、という負担の適正化が図られる。

かが払っているのではなく、税金という形で実は自分自身が負担している。しかし、負担している人に負担が見えないという問題がある。見える化とは、自分が出すごみの処理費用の一部、2割か3割かかもしれないが、手数料という形でサービスを受ける人が受益者として負担することだ。

苦小牧市はこのほど、来年7月に始まる家庭ごみ有料化を前に、シンポジウム「家庭ごみ有料化—大幅なごみ減量の達成に向けて」を開催した。ごみ有料化などを専門に研究する東洋大学経済学部の山谷修作氏の講演要旨を紹介する。

◇3Rが大事

人類が生活の豊かさを追求する過程で大量にモノをつくり、大量消費して、その結果、大量にごみが出る。このことで環境負荷が増大し、健全な物質循環が阻害されている。持続可能な循環型社会を選ぶのか否か、岐路に立っている

た。一番重要なのはリデュース。リサイクルは再生するためにはエネルギーを使う。環境負荷の問題を考えると、リデュースが最上位に入る。市民が取り組めることは買い物袋の持参、過剰包装の拒否、ごみにはならない製品を選んで購入する、ものを大切にすることだ。

家庭ごみを排出する以上が重要だ。

◇有料化の目的

家庭ごみ有料化の目的は、ごみの源化を促進すること、ごみの処理費用を見える化する。

のないようにして、分別して排出される。減量効果も、資源物を含めてごみの総量が減る。有料化は発生抑制を促す効果があるためだ。できるだけ「みを増やすように」といふになりそうな製品を避けすれば、受け取らない抑制行動がすれば当然。それは誰期待できる。

## ごみ減量や資源化に効果

みにならない製品を選んで購入する、ものを大切にすること

家庭ごみを排出すれば当然、処理費が掛かる。それは誰

る、受け取らない抑制行動が期待できる。

# 家庭ごみ 有料化

## ごみ減量に向けて

四

に増えた。

手数料水準は全国的に1トリップ1円が多い。若小牧市のように

効果は一概には言えないが、苦小牧でも20%程度減るので、な減量効果が出ていている。減量

不法投棄しにくい環境を整えることだ。看板の設置や、中身を検査して誰が投棄した

# 導入自治体は54%

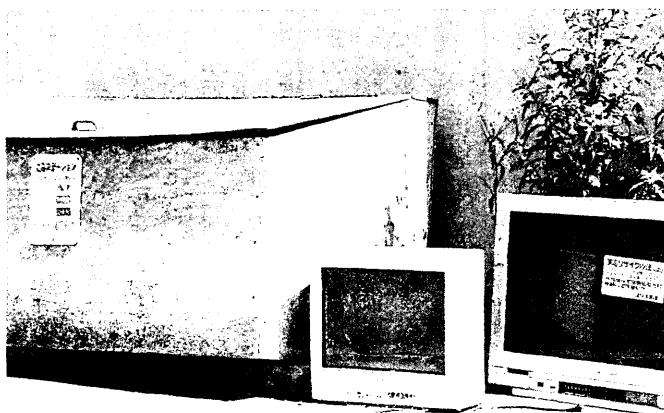
◇有料化の現状  
全国810市と東京23区の  
うち、有料化している都市が

437市、54%。2000年での有料化率を見ると北海道には2割程度だった。制度は、は100%近くになつていて、苦小牧市が来年7月から導入する。

り、現在は減っている。導入自治体は1990年代後半から増え、2000年代に一気

# 講演要旨

行政が対策を何もしなければ増えるので、十分注力して



ごみステーションに放置されたテレビ。不法投棄、不適正排出対策が課題だ

# 不適正排出対策重要なこと

の力をアエラックするとか監視カメラを設置する自治体もある。不適正排出は集合住宅で多く、対策が非常に重要。西東京市では、賃貸住宅の玄関のごみ排出場所に自分の部屋番号の付いたフックに自分のごみを引っ掛ける取り組みをしている。いわば集合住宅戸別収集版で、効果を出している。

丁寧な住民説明も非常に重要だ。練馬区で区民にアンケート調査をしたところ、有料化するときに配慮すべき点として、手数料の使途を明らかにしてほしいとか、有料化による減量効果、費用対効果の説明、「見える化」を求める意向が非常に強いことが分かった。苦小牧においても、そ

## 講 師

山谷修作氏 東洋大学経済学部講師  
研究を長年続けており、ごみ減量な  
どの各種審議会会長なども務める。

一ト調査をしたところ、有料化するときに配慮すべき点として、手数料の使途を明らかにしてほしいとか、有料化による減量効果、費用対効果の説明、「見える化」を求める意向が非常に強いことが分かった。苦小牧においても、そ

うした要望は強いと思ふ。  
減量の受け皿を整備することも重要。ごみを組成して、どういうものを資源化するかを色分けし、有効に整備していくかがポイントとなる。

西東京市では、集算住宅の玄関のごみ排出場所に自分の部屋番号の付いたフックに自分のごみを引っ掛ける取り組みをしている。いわば集合住宅戸別収集版で、効果を出している。

メモ  
マナー改善対策協議会  
創設、折り畳み式ショットガンの設置などの中。減量の受け皿として、有料化と同時に資源化を始め、その後は紙類や現在もいる廃プラスチックの出を無料とする。

監視カメラを設置する自治体もある。不適正排出は集合住宅で多く、対策が非常に重要。

芳小牧市では、不適正排出対策としてステーションパル隊や共同住宅によ

# ごみ家庭ごみ有料化

ごみ減量に向けて

・下・

◇さまざまな工夫  
有料化に伴い手数料収入が行政に入るが、何に使われるか分からぬ形は良くない。と市民に見えるようとする」とが重要。基金化も一つだ。苫小牧市の規模だと、手数料収入は数億円になる。収益を活用して減量へのさらなる市民の理解、取り組みの支援を立てる。新潟市はごみ出し支援事業をしている。高齢者など、ご

み出しが困難な人を対象に町内会など市民がサポートしてごみを排出し、その活動を行政が金銭的に支援している。

み出しが困難な人を対象に町内会など市民がサポートしてごみを排出し、その活動を行政が金銭的に支援している。途中で堆肥(たいひ)化に挫折する人も多かった。そこで、ごみの減量がすぐにごみの減量が求められる。

ごみの減量がすぐにごみの

ごみを自家処理して排

出しない人には無料でこの袋

ではないが、大きな削減効果

## 収益活用さらなる減量へ

地域で減量の取り組みを企画し、行政が一定の精査をして、良い取り組みは最高20万円まで支援するなど対象を広げている例もある。

東京都多摩市は今年6月に「生ごみ入れません!袋」を作った。生ごみを排出しない人は、手数料が無料という仕組み。市民団体が考案し、行政が実現した例だ。生ごみの減量について行政は堆肥化容

を配布することとした。登録を出した事例を紹介したい。

1カ月で700世帯が応募した。苫小牧でもさまざまな工夫をして、さらなるごみの減量に取り組んでほしい。

ごみを減量すれば焼却炉は沼ノ端の1カ所で対応できる

山谷修作氏 東洋大学経済学部教授。ごみに係る研究を長年続けており、



講 倉山修作氏 東洋大学経済学部教授。ごみに係る研究を長年続けており、

## 講演要旨

# 焼却施設建て替え不要に

◇焼却炉の改修費は

が減る。加えて札幌市は4工場でごみを処理していたが、億円の節減効果が見込める。

苫小牧市が有料化で見込む収益は、ごみ袋の製造など

化し、活用法の一つとして市民団体やグループによる減量活動を対象に5万円を交付する助成制度をする。焼却炉は糸井、沼ノ端に2カ所あるが、老朽化による改修時期を迎える。大幅なごみ減量が見込める。

成できれば、糸井の廃炉也可能になる。廃炉の場所は、うち1工場が老朽化して寿命年間2億5千万円程度の管理経費や50億~60億円

われる建て替え費用が不要になる。